



## 【戦評】

日本代表ジュニアチームのジュニアアジアカップ最終戦、5-6位決定戦が中国のパスバックで開始された。立ち上がり日本は中国の速いカウンターアタックを警戒すべく、ハーフプレスで対応した。前半6分に中国チームのサークルへの強烈な打ち込みに対して一瞬対応が遅れ、タッチシュートを決められ先制を許してしまう。早い時間帯で同点に追いつきたい日本であったが、プール戦を通じて失点数の少ない中国のディフェンシブな布陣を崩せずに前半が終了した。

後半は戦術を変え、フルプレスで日本のペースに持ち込もうと相手にプレッシャーを与え続けた。この作戦が功を奏し、後半5分に#4森がドリブルで中央から左に流れ、強烈なりバースヒットシュートで中国のゴールをこじ開け、同点とした。この得点で勢いに乗る日本は17分に左のオープンスペースでパスを受けた#18佐々木がリバースヒットシュートを放つとゴール右隅に決まり、ついに逆転した。このままでは終われない中国は得意のカウンターアタックで日本のゴールに襲いかかるも#12安部、#17膳棚が幾度となくピンチを救い、同点を許さない。逆に日本は中国のお株を奪うカウンターをしかけ仕掛け、33分に相手GKが前に出た隙を見逃さず、佐々木が角度のないところからヒットシュートを決め、中国にとどめとなる得点をあげ、試合が終了した。日本はこの勝利により、第7回ジュニアアジアカップを5位の成績で終えた。

文責：山堀貴彦